



第9回海洋安全保障シンポジウム 基調講演

『海上自衛隊と海上保安庁』
～似て非なる組織のこれまでとこれから～

1. 堅持すべき法執行機能



戦災により倒壊・被弾した灯台



初代海上保安庁長官 大久保武雄



対馬沖で密入国事件を初めて検挙
(昭和23年5月6日)

2. 磨くべき緩衝機能



対馬沖で韓国漁船「502シンブン」号 立入検査忌避事件発生
(平成17年5月)

3. 継続的に強化すべき体制 ✨



関係閣僚会議で発言する安倍内閣総理大臣（当時）



関係閣僚会議の様子

4. 深化すべき防衛省・自衛隊との連携



自衛隊との不審船共同対処訓練、合同訓練



自衛隊との海賊対処

5. 拡大すべき各国海上保安機関との連携・協力



米国沿岸警備隊との合同訓練



研修等の様子



海上保安政策プログラム
在学生・修了生と総理との記念撮影
(令和元年11月21日)
(第2回世界海上保安機関長官級会合)



岸田総理表敬(第7期生)



安倍総理(当時)によるスピーチ



安倍総理(当時)と各国長官等との記念撮影
(フェアウェル)

6. 展開すべき新たな視座



無操縦者航空機